

第64回 東京都剣道選手権大会要項

1. 日 時 令和7年9月6日（土）
※午前8時開門 午前9時開会
2. 場 所 東京武道館（足立区綾瀬3-20-1）
◇東京メトロ千代田線「綾瀬駅」東口下車 徒歩5分
3. 主 催 一般財団法人東京都剣道連盟
4. 後 援 東京都（申請中）
5. 参加資格 (1) 東京都剣道連盟の会員であること。
(2) 全日本剣道連盟会員規則に適合している者。
(3) 年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。
(年齢計算は、令和7年11月2日を基準とし、平成17年11月2日以前に生まれた者)
(4) 他道府県の予選会に参加する者は出場することができない。違反した者は出場を取り消す。
7. 試合方法 トーナメント法により試合を行い、優勝・二位・三位（2名）を決定する。
8. 試合および審判規則 (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
(2) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗の決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで勝敗が決するまで継続する。
9. 竹刀計量 (1) 竹刀の計量は必ず受けること。
(2) 竹刀の長さ、重さ、太さは次のとおりとする。

長 さ	重 さ	太 さ	
120センチメートル以下	510グラム以上	先端部最小直径	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	21ミリメートル以上

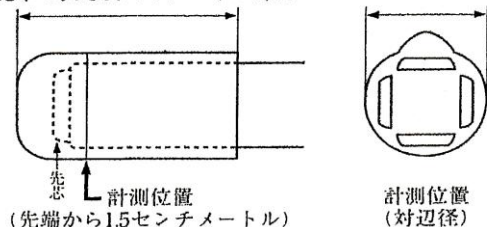
ただし、二刀の場合は、

大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	先端部最小直径	25ミリメートル以上
			ちくとう最小直径	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280～300グラム	先端部最小直径	24ミリメートル以上
			ちくとう最小直径	19ミリメートル以上

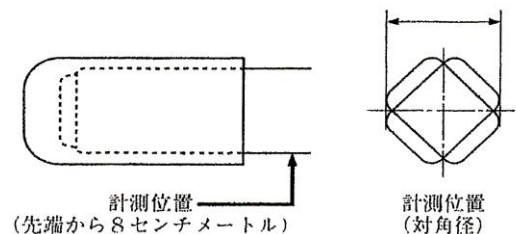
付 剣道試合・審判運営要領

＜竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法＞

先革の長さ50ミリメートル以上



＜ちくとうの最小直径値の計測方法＞



10. 表彰 優勝・二位・三位（2名）を表彰する。

- 1 1. 全日本選手権大会出場者 本大会の優勝者・二位・三位（2名）の計4名を東京都代表として派遣する。
なお、準々決勝敗者による補員決定戦の勝者を順位により補員とする。
但し、全日本剣道選手権大会出場者は、令和7年4月30日以前から大会当日まで引き続き東京都剣道連盟の登録会員であること。
- 1 2. 個人情報保護法への対応 申込書に記載される個人情報（所属団体名、称号・段位、漢字氏名、年齢、職業、住所等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟（以下「東剣連」という）が実施する全国大会ならびに本大会運営のために利用する。なお、所属団体名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、東京剣連だより等）に公表することがある。
更に、次に列挙するとおり、剣道の普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。
（1）東剣連および東剣連が認める報道機関等が撮影した写真が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。
（2）東剣連および東剣連が認める報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放映およびインターネットによる配信で公開されることがある。
（3）東剣連の許可を受けた者によって、撮影された写真および映像が頒布されることがある（以上を申込者に周知して下さい）。
- 1 3. 動画配信及び公開について 本大会のインターネット中継・動画配信等は東剣連の許可を受けた者のみ行うことができる。
- 1 4. そ の 他 （1）本大会に参加する選手は、必ず所属団体名と姓を記入の名札をつける。
（2）試合時には面マスクまたはシールド（マウスガード）を着用すること。
（3）主催者は、大会中の事故に対し（大会会場への往復途上を含む）、傷害保険に加入する。なお、大会実施中、傷害発生の場合は、医師または看護師により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は本人が負担する。
（4）駐車場の使用は出来ません。また、付近の道路は駐車禁止になっておりますので、必ず電車等をご利用下さい。
（5）靴袋をご持参下さい。



※本連盟では個人からの直接の申込みは受付けておりません。

申込方法、申込期日、参加料等については、所属団体へお問い合わせ下さい。